

平成28年度

新川広域圏事務組合
一般会計決算審査意見書

新川広域圏事務組合監査委員

平成29年6月26日

新川広域圏事務組合
理事長 村 椿 晃 様

新川広域圏事務組合
監査委員 米 澤 憲二郎

新川広域圏事務組合
監査委員 西 岡 良 則

平成28年度新川広域圏事務組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された平成28年度新川広域圏事務組合一般会計の歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、その結果について意見を提出します。

平成28年度新川広域圏事務組合一般会計決算審査意見書

1 審査の対象

- (1) 平成28年度 新川広域圏事務組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 附属書類
 - 平成28年度 新川広域圏事務組合歳入歳出決算事項別明細書
 - 平成28年度 新川広域圏事務組合実質収支に関する調書
 - 平成28年度 新川広域圏事務組合財産に関する調書

2 審査の期日と場所

- 期日 平成29年6月26日
- 場所 新川広域圏事務組合 事務局会議室

3 審査の方法

審査は、平成28年度新川広域圏事務組合歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

5 決算収支状況

平成28年度の一般会計決算額は、次のとおりである。

- 歳入 15億7,254万円 (予算対比101.4%、前年度対比50.9%)
- 歳出 14億9,406万8千円 (予算対比96.3%、前年度対比49.1%)

この差引額(形式収支)7,847万2千円から、翌年度に繰り越すべき財源410万円を差し引いた実質収支は7,437万2千円の黒字となっている。当年度実質収支から前

年度実質収支を差し引いた当年度の単年度収支は2,340万8千円の黒字となっている。

前年度決算額と比較して歳入で15億1,941万3千円（49.1%）、歳出で15億4,692万1千円（50.9%）それぞれ減となっている。減少の主な理由は、平成27年度にエコぼ〜と焼却設備大規模補修事業、宮沢清掃センター火災復旧工事及び火災に伴うごみ処理委託を行ったためである。

決 算 収 支 状 況

（単位：円）

年度	歳入 A	歳出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
28年度	1,572,540,039	1,494,067,445	78,472,594	4,100,000	74,372,594	50,964,162	23,408,432
27年度	3,091,953,085	3,040,988,923	50,964,162	0	50,964,162	34,957,857	16,006,305
増減	△1,519,413,046	△1,546,921,478	27,508,432	4,100,000	23,408,432	16,006,305	7,402,127

（1）歳 入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

（単位：円）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算現 額対比	調定額 対比
28年度	1,551,462,000	1,586,495,892	1,572,540,039	0	13,955,853	101.4	99.1
27年度	3,199,308,580	3,105,908,938	3,091,953,085	0	13,955,853	96.6	99.6

① 収入状況

予算現額に対する収入割合は101.4%であり、前年度の収入済額と比較して、15億1,941万3千円、49.1%の減となっている。

収入の主なものは、分担金及び負担金で、収入額は10億8,263万円で全体の68.9%を占めている。以下、使用料及び手数料が2億9,033万9千円で18.5%、県支出金が352万6千円で0.2%、財産収入が120万円で0.1%、繰入金が4,938万5千円で3.1%、繰越金が5,096万4千円で3.2%、諸収入が3,619万5千円で2.3%、組合債が5,830万円で3.7%、となっている。

また、調定額に対する収入割合は99.1%で、収入未済額は1,395万6千円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

収 入 状 況

(単位：円)

区分	予算現額	調定額	収 入 済 額				不納 欠損額	収入 未済額
			金額	構成比 (%)	予算対 比(%)	調定対 比(%)		
1. 分担金及び負担金	1,082,630,000	1,082,630,000	1,082,630,000	68.9	100.0	100.0	0	0
2. 使用料及び手数料	270,930,000	290,339,465	290,339,465	18.5	107.2	100.0	0	0
3. 県支出金	3,526,000	3,526,000	3,526,000	0.2	100.0	100.0	0	0
4. 財産収入	1,200,000	1,200,031	1,200,031	0.1	100.0	100.0	0	0
5. 繰入金	49,396,000	49,385,276	49,385,276	3.1	99.9	100.0	0	0
6. 繰越金	50,964,000	50,964,162	50,964,162	3.2	100.0	100.0	0	0
7. 諸収入	22,416,000	50,150,958	36,195,105	2.3	161.5	72.3	0	13,955,853
8. 組合債	70,400,000	58,300,000	58,300,000	3.7	82.8	100.0	0	0
計	1,551,462,000	1,586,495,892	1,572,540,039	100.0	101.4	99.1	0	13,955,853

② 財源構成

歳入総額を使用料及び手数料、財産収入、繰入金、繰越金、諸収入からなる自主財源と、分担金及び負担金、県支出金、組合債からなる依存財源に分類してみると、自主財源は4億2,808万4千円、依存財源は11億4,445万6千円となっており、その構成比は、自主財源27.2%(前年度44.5%)、依存財源72.8%(前年度55.5%)と、自主財源が構成比で前年度から17.3ポイント低くなっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源71.2%(前年度33.0%)、特定財源28.8%(前年度67.0%)と特定財源の占める割合が34.0ポイント高くなっている。

過去2ヵ年の財源別状況

(単位：千円)

	決算額		構成比率		前年度対比	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
自主財源	428,084	1,374,688	27.2%	44.5%	31.1%	421.6%
依存財源	1,144,456	1,717,265	72.8%	55.5%	66.6%	116.0%
計	1,572,540	3,091,953	100.0%	100.0%	50.9%	171.1%
一般財源	1,119,841	1,019,559	71.2%	33.0%	109.8%	92.0%
特定財源	452,699	2,072,394	28.8%	67.0%	21.8%	296.3%

第1款 分担金及び負担金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算現 額対比	調定額 対比
28年度	1,082,630,000	1,082,630,000	1,082,630,000	0	0	100.0	100.0%
27年度	995,824,000	995,824,000	995,824,000	0	0	100.0	100.0%

収入済額は10億8,263万円で、前年度から8,680万6千円、8.7%増加している。

増加の主なものは、エコぼ〜と分担金867万9千円、宮沢清掃センター分担金1億8,750万5千円である。

一方、減少しているものは、エコぼ〜と焼却設備大規模補修事業分担金8,933万8千円、組合経常費分担金2,806万1千円、クリーンぼ〜と分担金408万7千円である。

歳入総額に占める割合は68.9%(前年度32.2%)で、前年度から36.7ポイント高くなっている。

収入済額の内訳は、各市町からの分担金10億6,887万7千円(98.7%)、救急医療負担金1,375万3千円(1.3%)となっている。分担金及び負担金の目的別収入状況は、別表第1のとおり、分担金収入明細書は、別表第2のとおりとなっている。

第2款 使用料及び手数料

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入未済額	予算現 額対比	調定額 対比
28年度	270,930,000	290,339,465	290,339,465	0	0	107.2%	100.0%
27年度	241,816,000	249,246,897	249,246,897	0	0	103.1%	100.0%

収入済額は2億9,033万9千円で、前年度から4,109万3千円、16.5%増加している。増加の主なものは、ごみ袋等交付手数料2,649万6千円、ごみ処理手数料1,466万9千円となっている。歳入総額に占める割合は18.5%(前年度8.1%)で、前年度から10.4ポイント高くなっている。

収入済額の主な内訳は、斎場使用料1,688万7千円、ごみ処理手数料1億383万7千円、ごみ袋等交付手数料1億6,851万1千円、し尿処理手数料86万7千円等となっている。

第3款 県支出金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
28年度	3,526,000	3,526,000	3,526,000	0	0	100.0%	100.0%
27年度	3,541,000	3,541,000	3,541,000	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は352万6千円で、前年度から1万5千円、0.4%増加している。

歳入総額に占める割合は0.2%（前年度0.1%）で、前年度から0.1ポイント高くなっている。

収入済額の内訳は、病院群輪番制病院運営費補助金352万6千円となっている。

第4款 財産収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
28年度	1,200,000	1,200,031	1,200,031	0	0	100.0%	100.0%
27年度	2,700,000	5,069,977	5,069,977	0	0	187.8%	100.0%

収入済額は120万円で、前年度から387万円、76.3%減少している。

歳入総額に占める割合は0.1%（前年度0.2%）で、前年度から0.1ポイント低くなっている。

収入済額の内訳は、ふるさと市町村圏基金運用利子120万円となっている。

第5款 繰入金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
28年度	49,396,000	49,385,276	49,385,276	0	0	99.9%	100.0%
27年度	0	0	0	0	0	—	—

収入済額は4,938万5千円で、歳入総額に占める割合は3.1%（前年度0.0%）となっている。

収入済額の内訳は、CATV事業特別会計繰入金で4,938万5千円となっている。

第6款 繰越金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
28年度	50,964,000	50,964,162	50,964,162	0	0	100.0%	100.0%
27年度	37,548,580	37,548,437	37,548,437	0	0	99.9%	100.0%

収入済額は5,096万4千円で、歳入総額に占める割合は3.2%(前年度1.2%)で、前年度から2.0ポイント低くなっている。

収入済額の内訳は、平成27年度繰越金では5,096万4千円となっている。

第7款 諸収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
28年度	22,416,000	50,150,958	36,195,105	0	13,955,853	161.5%	72.2%
27年度	1,168,779,000	1,096,778,627	1,082,822,774	0	13,955,853	92.7%	98.7%

収入済額は3,619万円5千円で、前年度から10億4,662万8千円、96.7%減少している。

歳入総額に占める割合は2.3%(前年度35.0%)で、前年度から32.7ポイント低くなっている。

収入済額の内訳は、エコぼ〜と燃料代1,128万1千円、アルミ売却代金649万1千円、誘引インバーター盤補修に係る業者負担分486万円となっている。

収入未済額は、平成20年度の宮沢清掃センターの磁性物売却代金である。

第8款 組合債

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
28年度	70,400,000	58,300,000	58,300,000	0	0	82.8%	100.0%
27年度	749,100,000	717,900,000	717,900,000	0	0	95.8%	100.0%

収入済額は5,830万円で、前年度から6億5,960万円、91.9%減少している。

歳入総額に占める割合は3.7%(前年度23.2%)で19.5ポイント低くなっている。

収入済額の内訳は、宮沢清掃センター一般廃棄物最終処分場最終覆土事業債5,830万円となっている。

(2) 歳 出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
28年度	1,551,462,000	1,494,067,445	0	57,394,555	96.3%
27年度	3,199,308,580	3,040,988,923	0	158,319,657	95.1%

①支出状況

予算現額に対する執行率は96.3%であり、前年度の95.1%から1.2ポイント高くなっている。支出済額は14億9,406万7千円で、前年度から15億4,692万1千円、50.9%減となっている。

減少の主なものは、宮沢清掃センター管理費8億8,384万円、エコぼ〜と焼却設備大規模補修事業費8億522万5千円などである。

一方、増加の主なものは、環境対策費2,331万8千円、公債費元金9,548万5千円などである。

決算額を性質別（構成比）にみると、義務的経費では、人件費で2億5,096万1千円（16.8%）、扶助費274万円（0.2%）、公債費2億2,783万円（15.2%）で、義務的経費全体では4億8,153万1千円となり、決算総額の32.2%を占めている。投資的経費は、普通建設事業費8,182万1千円で、決算総額の5.5%を占めている。その他の経費では、物件費で7億3,311万9千円（49.1%）、維持補修費で1億22万2千円（6.7%）、補助費等で4,798万9千円（3.2%）、繰出金で4,938万5千円（3.3%）その他の経費全体では9億3,071万5千円となり、決算総額の62.3%を占めている。

性質別経費の内訳を前年度と比較すると、義務的経費では人件費で4,409万円、14.9%減、扶助費で20万円、6.8%減、公債費で9,459万3千円、71.0%増となっており、義務的経費全体では、5,030万4千円、11.7%増となっている。投資的経費では、14億9,376万8千円、94.8%減となっている。その他の経費では物件費で1億438万6千円、12.5%減、維持補修費で4,949万1千円、33.1%減、補助費等で1,034万4千円、2.2%増となっており、その他の経費全体では、1億345万7千円、10.0%減となっている。

歳出性質別経費比較

(単位：円)

	28年度	27年度	26年度
義務的経費	461,731,336	1,332,163,222	1,132,621,561
投資的経費	81,820,800	1,575,589,120	426,880,780
その他経費	950,515,309	133,236,581	209,848,944
合 計	1,494,067,445	3,040,988,923	1,769,351,285

②支出の構成

支出状況は、次の表のとおりである。

支 出 状 況

(単位：円)

区分	予算現額	支出済額			翌年度繰越額	不用額
		金額	構成比 (%)	執行率 (%)		
1. 議会費	1,657,000	1,173,507	0.1%	70.8%	0	483,493
2. 総務費	150,701,000	142,897,179	9.6%	94.8%	0	7,803,821
3. 衛生費	1,169,190,000	1,122,166,872	75.1%	96.0%	4,100,000	42,923,128
4. 公債費	227,947,000	227,829,887	15.2%	99.9%	0	117,113
5. 予備費	1,967,000	0	0.0%	0.0%	0	1,967,000
計	1,551,462,000	1,494,067,445	100.0%	96.3%	4,100,000	53,294,555

第1款 議会費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
28年度	1,657,000	1,173,507	0	483,493	70.8%
27年度	1,438,000	1,366,126	0	71,874	95.0%

支出済額は117万4千円で、前年度から19万3千円、14.1%の減となり、歳出総額に占める割合は0.1%で前年度と同率となっている。

不用額は、48万3千円で、前年度から41万2千円、573.2%の増であり、予算現額に対する執行率は70.8%で、前年度から24.2ポイント低くなっている。

第2款 総務費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
28年度	150,701,000	142,897,179	0	7,803,821	94.8%
27年度	131,458,000	129,404,760	0	2,053,240	98.4%

支出済額は1億4,289万7千円で、前年度から1,349万2千円、10.4%の増となり、歳出総額に占める割合は9.6%で前年度から5.4ポイント高くなっている。

支出済額の主なものは、一般管理費1億4,158万5千円(5,037万5千円増)、企画費120万円(10万5千円増)、監査委員費11万2千円(2千円減)となっている。

不用額は、780万4千円で、前年度から575万1千円、280.1%の増であり、予算額に対する執行率は94.8%で、前年度から3.6ポイント低くなっている。

第3款 衛生費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
28年度	1,169,190,000	1,122,166,872	4,100,000	42,923,128	96.0%
27年度	2,926,968,580	2,776,981,456	0	149,987,124	94.9%

支出済額は11億2,216万7千円で、前年度から16億5,481万5千円、59.6%の減となり、歳出総額に占める割合は75.1%で前年度から16.2%ポイント低くなっている。

支出済額の主な内訳は、救急医療対策費4,231万7千円(18万7千円減)、西部斎場管理費3,553万7千円(715万8千円増)、東部斎場管理費3,070万4千円(788万2千円増)、エコぼ〜と管理費3億6,886万3千円(587万円減)、宮沢清掃センター管理費4億46万8千円(8億8,384万円減)、環境対策費1億6,203万2千円(2,331万8千円増)、新川一般廃棄物最終処分場管理費4,071万3千円(325万3千円増)、クリーンぼ〜と管理費4,153万2千円(130万3千円減)となっている。また、エコぼ〜と焼却設備大規模補修事業費は皆減となっている。

翌年度繰越額410万円を差し引いた不用額は、4,292万3千円で、前年度に比べ1億706万4千円、71.4%の減であり、予算額に対する執行率は96.0%で、前年度から1.1ポイント高くなっている。

不用額の主なものは、宮沢清掃センター管理費2,756万9千円、エコぼ〜と管理費719万6千円、クリーンぼ〜と管理費285万5千円である。

第4款 公債費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
28年度	227,947,000	227,829,887	0	117,113	99.9%
27年度	136,444,000	133,236,581	0	3,207,419	97.7%

支出済額は2億2,783万円で、前年度から9,459万3千円、71.0%の増となり、歳出総額に占める割合は15.2%で前年度から10.8ポイント高くなっている。

支出済額の内訳は、元金2億1,002万4千円（9,548万5千円増）、利子1,780万6千円（89万2千円減）となっている。

不用額は、11万7千円で、前年度から309万円、96.3%の減であり、予算額に対する執行率は99.9%で前年度から2.2ポイント高くなっている。

第5款 予備費

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
28年度	1,967,000	0	0	1,967,000	0.0%
27年度	3,000,000	0	0	3,000,000	0.0%

支出済額はなく、不用額196万7千円となっている。

平成28年度の当初予算は300万円だったが、環境対策費の需用費・消耗品費へ123万3千円充用した。

6 財産管理

(1) 土地について

前年度末現在高165,930㎡で、本年度末現在高165,930㎡で増減はなかった。

(2) 建物について

前年度末現在高14,966㎡で、本年度末現在高14,966㎡で増減はなかった。

(3) 出資による権利について

前年度末現在高10万円で、本年度末現在高10万円で増減はなかった。

(4) 物品について

本年度末現在高は小型貨物自動車ほか14品で、前年度末より増減はなかった。

(5) 基金について

① 新川地区ふるさと市町村圏基金

(単位：円)

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高
地 方 債	499,850,000	0	499,850,000
定期預金	150,000	0	150,000
計	500,000,000	0	500,000,000

7 意見

(1) 施設の維持管理等について

2ヵ年継続事業の宮沢清掃センター一般廃棄物最終処分場最終覆土工事は順調に進んでいるが、各工程や安全管理などを十分に監視し、工事の円滑な進捗に努められたい。

広域圏の各施設は老朽化が進んでおり、今後、多額の修繕費をかけなくてもよいように定期点検等を適正に行なったり、機械が傷んでくる場所を想定出来るように同じ機械を使っている施設との情報交換を行うなど予防保全に努められ延命化を図られたい。

特に、東部斎場は供用開始から40年が経過し、耐用年数が残り約10年となってきたが、施設更新には地元住民の賛同を得るだけでも相当の時間がかかることから、早めに地元対策に取りかかるなど、綿密な計画を立てた上で、事業に取り組まれない。

(2) 施設の安全管理について

平成26年度に宮沢清掃センター、平成27年度にクリーンぽ〜と、平成28年度には西部・東部斎場の処理業務等施設運転を委託化しているが、今後更に、このような委託化を進めた場合、職員はもとより受託業者の安全対策も含め、現場との意思疎通を密にし、運転に支障が生じぬよう、徹底した管理運営体制の構築に努められたい。

(3) 分別及びリサイクルの推進

ごみの出し方については、ホームページや広報、リーフレット等で広域圏及び各市町において周知を行っているところであるが、それぞれの整合性を図った上で、引き続き住民への周知徹底を行い、分別及びリサイクルの推進によるごみの減量化を図られたい。

また、平成28年度も宮沢清掃センターにおいて爆発事故が発生していることから、スプレー缶等の出し方について、なお一層の啓発を行うなど、爆発事故の未然防止に努められたい。

8 むすび

以上で平成28年度新川広域圏事務組合各会計歳入歳出決算審査について概要と意見を述べたが、予算の執行に際してはその重要性を認識され、事務事業についても内容の充実した執行が行われていた。

各施設の運営管理について、経費の節減等効率的、合理的運営に努力がなされていると思われるが、なお一層の効率的運営を図られ、今後も広域行政の積極的な推進に向け、地域住民の福祉向上に努力されることを併せて望むものである。

別表第1

分担金及び負担金の目的別収入状況

区 分	平成28年度			平成27年度			前年度対比	
	収入済額(円)	収入率(%)	構成比(%)	収入済額(円)	収入率(%)	構成比(%)	増減額(円)	増減率(%)
1. 組合経常費分担金	98,421,000	100.0	9.1	126,482,000	100.0	12.7	△ 28,061,000	△ 22.2
2. 救急医療対策費分担金	25,038,000	100.0	2.3	25,150,000	100.0	2.5	△ 112,000	△ 0.4
3. 西部斎場分担金	20,674,000	100.0	1.9	16,415,000	100.0	1.6	4,259,000	25.9
4. 東部斎場分担金	23,665,000	100.0	2.2	16,925,000	100.0	1.7	6,740,000	39.8
5. エコぽ〜と分担金	289,603,000	100.0	26.7	280,924,000	100.0	28.2	8,679,000	3.1
6. 宮沢清掃センター分担金	488,125,000	100.0	45.2	300,620,000	100.0	30.3	187,505,000	62.4
7. 新川一般廃棄物最終処分場分担金	39,430,000	100.0	3.6	38,151,000	100.0	3.8	1,279,000	3.4
8. 旧西部・東部清掃センター解体事業費分担金	12,864,000	100.0	1.2	12,862,000	100.0	1.3	2,000	0.1
9. クリーンぽ〜と分担金	71,057,000	100.0	6.6	75,144,000	100.0	7.5	△ 4,087,000	△ 5.4
10. エコぽ〜と焼却設備大規模補修事業分担金	0	100.0	0.0	89,338,000	100.0	9.0	△ 89,338,000	皆減
小 計	1,068,877,000	100.0	98.7	982,011,000	100.0	98.6	86,866,000	8.8
1. 救急医療負担金	13,753,000	100.0	1.3	13,813,000	100.0	1.4	△ 60,000	△ 0.4
合 計	1,082,630,000	100.0	100.0	995,824,000	100.0	100.0	86,806,000	8.7

分担金収入明細書

(単位：円)

市町名 分担金区分	魚津市	黒部市	入善町	朝日町	合計
1. 組合経常費分担金	32,401,596	31,636,046	21,317,274	13,066,084	98,421,000
2. 救急医療対策費分担金	8,490,621	8,270,275	5,319,018	2,958,086	25,038,000
3. 西部斎場分担金	10,456,742	10,217,258			20,674,000
4. 東部斎場分担金			14,195,534	9,469,466	23,665,000
5. エコぽ～と管理費分担金	91,450,283	94,921,117	66,054,270	37,177,330	289,603,000
6. 宮沢清掃センター分担金	159,545,636	160,351,266	106,735,282	61,492,816	488,125,000
7. 新川一般廃棄物最終処分場管理費	13,134,611	12,603,626	8,780,262	4,911,501	39,430,000
8. 旧西部・東部清掃センター解体事業費分担金			8,161,261	4,702,739	12,864,000
9. クリーンぽ～と分担金	23,945,786	19,284,265	15,483,603	12,343,346	71,057,000
合計	339,425,275	337,283,853	246,046,504	146,121,368	1,068,877,000